



立体ガーゼマスクの作り方

- ① 折り線  
ガーゼタオルとガーゼ、型紙、ハサミ、手芸用ボンド、ゴム、ゴム通しを用意する
- ② A  
ガーゼタオル(マスクの外側)=A=を型紙を使って2枚切る
- ③ B  
折り線で折る  
ガーゼ(口に当たる側)=B=は、型紙を折り線に沿って一回り小さく折り、2枚切る
- ④ 内側の点線部分をのり付けする  
A、Bそれぞれ曲線部分の内側にボンドを塗り、2枚を貼り合わせる。Aは縁柄が内側にくるようにする
- ⑤ B  
Bの上下部分にのりを付け、Aの縁柄がある側と貼り合わせる。乾くのを待ち、のりの付いていない端部分からひっくり返す
- ⑥ ここからひっくり返す  
内側の点線部分をのり付けする
- ⑦ 内側の点線部分をのり付けする  
三つ折りする  
端の余っている部分を三つ折りし、ゴムを通す穴を作る
- ⑧ ギムを通して完成

新型コロナウイルスの感染が拡大する中、依然マスク不足が続いています。京都市内の学習塾「J」に入るまなぶ京都野村科学館「下」より立体マスクの作り方の図解を、型紙と合わせて再び掲載します。

図解では幼い子どもも作れるように手芸用接着剤を使っていますが、接着部分を糸で縫うとさらに丈夫に作ることができます。ガーゼタオルを活用しても顔触りがよ／＼、手洗えば何度も利用することができます。

型紙は同館のホームページにも掲載されています。

# 手作りマスクの型紙と作り方



右のQRコードから京都新聞のYouTubeにリンクし、動画を見ることができます。